

令和2年6月1日
第45号

早稲田大学
武蔵野稲門会報



発行 武蔵野稲門会
〒180-0021
武蔵野市桜堤2-13-1-226
諸江 昭雄
TEL 0422(54)0873

会長からみなさまへ

武蔵野稲門会 会長 諸江 昭雄 (1963・法)

まずは、世界中に蔓延し我が国においても曾てない被害を出しつつある「新型コロナウイルス禍」の最中であって頑張っておられる武蔵野稲門会会員の皆さまに会長よりお見舞いを申し上げます。

当会の令和元年度(2019年)の活動も役員をはじめ会員の皆さまのご協力により無事に終了できるものと思っておりましたが、2月に突如襲来しました「新型コロナウイルスによる感染症」の拡がりにより校友会活動にも待たがかり、遂には6月開催予定として準備して参りました「令和2年度総会」を断念するに至りました。

大学の通達により当面9月中旬迄は30名以上のイベント開催はしないことと致しました。

母校・早稲田大学は早々と対策を打ち、3月25日挙行予定の卒業式、4月1日の入学式を取り止め以降、教職員は在宅テレワーク、授業は5月よりオンラインとなります。通常の授業再開は未だ先が見えない状況です。

我々卒業生の楽しみである早稲田スポーツも試合等は軒並み中止または延期され、気がかりではありますが学生教職員全員が罹患しないよう祈るばかりです。

なお、会員の皆さまも報道でお気づきかと拝察いたしますが、コロナウィルス禍により学業継続が困難な学生を救済支援をするために母校は10億円の拠出をすることになりました。その原資の一部として校友OB寄付を要請しております。今こそ将来のある後輩を支援したいと考えておりますのでご理解の程よろしくお願いいたします。

どうか会員の皆さまもお体に気を付けて、来春の集まりには互いに元気に再会できますよう心から祈って私からの挨拶とさせていただきます。

感謝合掌(4月28日 執筆)



武蔵野稲門会 「総会见送り」のおしらせ

6月6日(土)に予定していた「総会」を見送ることになりました。

早稲田大学校友会から新型コロナウイルス感染拡大予防に関して「各種総会・会合・イベント等の校友会・稲門会活動の中止・延期措置等を9月19日(土)まで延長する」との連絡があり今年度の総会は「書面開催」といたします。詳細につきましては同封の資料をご覧くださいの上、ご協力くださいますようお願いいたします。

令和2年武蔵野稲門会 新年会報告

すずき やすゆき
鈴木 康之 (1985・政経)

令和2年武蔵野稲門会新年会が、1月25日午後1時半、武蔵野スイングホールで開かれました。会員71名、招待学生5名、演奏者1名、参加者全77名の大盛況でした。司会は、徳田直子(1969法)さんと谷中竜雄(2002法)さんが担当されました。最初に、恒例となった星田正(1961政経)さんのリードで、参加者全員により唱歌「一月一日」を斉唱しました。諸江昭雄会長より挨拶。冒頭第一声、「早稲田ラグビー、新国立競技場で11季振りの大学選手権優勝！」の快挙が報じられ、最初に会場から歓声が挙がりました。続いて今年の武蔵野稲門会の抱負が語られました。次に、西原春夫元総長(名誉会員)より、「東アジアの平和構想」についてのお話をいただきました。松下玲子武蔵野市長(会員)には乾杯の音頭を取っていただき、東京オリンピックを迎える国際都市・武蔵野市(ルーマニアのホストタウン)の取り組みが紹介されました。乾杯の後、新会員、招待学生の紹介があり新会員は、夜久(やく)竹夫さん(1972年、理工学研究科修士課程卒)今回招待学生は、早稲田祭運営スタッフ2人、所沢キャンパス祭運営スタッフ2人、早大漕艇部マネージャー・レガッタ広報辻彩華さんの5名でした。休憩を挿み、懇親会となり暫し歓談で賑わった後はアトラクションです。オペラ歌手神田さやかさん(藤原歌劇団準団員、日本オペラ協会準会員)の『新春ソプラノソロコンサート』です。椿姫「乾杯の歌」、「花」、マイフェアレディ「踊り明かそう」「春よ来い」など、次々に名曲が披露され、会場に凜とし朗々とした歌声が響き渡りました。相次ぐアンコール曲の最後まで、参加者一同歌声に魅了され満喫しました。土屋正忠(1966法)(会員、元武蔵野市市長、前衆議院議員、元総務副大臣)さんが、スピーチで早稲田出身の外交官・杉原千畝の功績を語られました。新年会、総会の度に、日本酒をご提供頂いている寺内清高さん(会員・元志木稲門会幹事長、熊谷・権田酒造役員)よりご挨拶と銘酒「直実」の蔵出しの話をして頂きました。ここで 新会員の夜久竹夫さんが自己紹介をされ、招待学生が学園祭の話、辻彩華さんがレガッタ開催の挨拶をしました。盛り上がったところで、「お楽しみ福引」です。菅伸子さん(会員)、神田さやかさんが交互に籤を引き、谷中さんが当選番号を読み上げることに、会場から歓声が上がりました。参加者全員がお土産として、いなば食品の缶詰セットをいただき、諸江会長から、いなば食品グループの紹介、同社代表取締役社長稲葉敦央さん(会員)への御礼の挨拶がありました。

同好会の紹介となり、馬場正彦さんから「ウォーキング会」、中山美代子さんから「温泉と景観を楽しむ会」の紹介がありました。山口光朗さん(事業担当常任幹事)が閉会の言葉を述べ締めとなりました。最後は、野本好朗さんの力強い指揮による参加者全員での肩を組んでの『紺碧の空』、『校歌』斉唱、その後記念撮影と進み令和の時代となって初めての新年会、楽しい集いとなりました。(写真：山下 倫一・宮崎 幸二)



『一月一日』斉唱



西原春夫 元総長 スピーチ



乾杯は 松下玲子 武蔵野市長

堀 法律事務所

弁護士 堀 裕一

(1980年法学部卒。第二東京弁護士会所属)

弁護士7名在籍。医学博士やマンション管理士でもある弁護士もおります

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-1-23 虎ノ門東宝ビル 6F・7F

TEL(代表) 03-6206-1022 FAX 03-3500-1013

Email: hori@hori-laws.jp http://hori-laws.jp

不動産の売買・賃貸・管理・リフォーム

都知事免許(12)23754

株式会社 アコー

代表取締役 滝本 尚男

(1963年法学部卒)

〒180-0022 東京都武蔵野市境2-11-22

(中央線「武蔵境駅」北口本町通りアコービル1F)

TEL 0422-51-3050 FAX 0422-51-3057



全員集合



神田さやかさん新春ソプラノコンサート



神田さやかさんと共に



「お楽しみ福引き」



稲葉敦央さんより出席者全員に「ツナ缶セット」をご提供いただきました



「応援歌」斉唱

虎ノ門カレッジ法律事務所
 弁護士 福原 弘
 (1969年法学部卒。東京弁護士会所属)
 〒105-0001
 東京都港区虎ノ門1丁目1番23号 虎ノ門東宝ビル3階
 TEL 03(3597)5755 FAX 03(3597)5770

新会員自己紹介

育った土地に戻って来ました

やく たけお
夜久 竹夫 (1972・理工研・修士)

武蔵野市には子供の頃から社会人になる迄住んでその後出たり入ったりしましたが、定年で戻った時にお誘いがあったので入会させて頂きました。



地元は境ですが、戻ってからは幼馴染等の関係で神社の世話人やコミセンの運営委員などの地域活動もしています。

仕事は大学の教員をしていました。その間早稲田では10数年兼任で講師をして、教育学部では10学年位卒論指導もしました。西原総長の時代もあったので、新年会でお隣の席でお話できて感激しております。

どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

同好会報告 (1)

同好会活動もしばらく休止いたします
再開の折には HP または各同好会世話人よりお知らせいたします

もっと早稲田を応援する会

「12月2日勝っても負けてもラグビー早明戦を語る」

かわさき だいはち
川崎 大八 (1967・理工)

こここのところ早稲田スポーツは弱いから”伝統の早稲田”としか言われない。

新年早々の箱根駅伝シード落ち、野球も再建中ではこういわれても仕方がない。この状況でラグビーは対抗戦全勝で勝ち進み明治と対戦することになった。一点の光のように期待は大きかった。下馬評はやや明治が有利のようだったが「応援する会」は気にしなかった。

というのは昭和37年対抗戦Bに落ちた早稲田がA全勝の明治を17-8で破ったという不思議な尊貴な歴史を知っていたからだ(当時早稲田は部員30名。よく勝った)。

今年の切符は9月には売り切れで手に入らない。NHK総合やJスポーツでTV観戦後皆で感想会を催すことにした。ただ”勝っても負けても”の冠をつけたのは明治の戦いぶりが数年前の帝京に似ているように感じまして弱気になったため二度と愚かなことはす

まいと今になって反省している。

試合は前半頑張った。戎ピアホールに集まったのは6名。谷内さんがテキパキ進めてくれた。”早稲田の展開ラグビーの本領が発揮されなかった。中野の欠場も痛かった。次の来年1月の新国立競技場での大学選手権ではフォワードが頑張ってバックスが本領発揮して明治を倒す。そうならば早稲田が明治に負けたといわれるのはこの12月の1カ月だけでその後1年間は早稲田が明治に勝って優勝したと称賛され続ける。”が結論。

焼き鳥はもちろん酒は美味かった。何より皆の話が面白い。実際 新国立競技場で明治を破っての大学選手権優勝は中野、斎藤の額面通りの活躍が目立った。優勝後の現在は対抗戦早明戦の結果よりも我々の予想通り早稲田が”大学日本一”として称えられている。

参加者 6名

上条節夫、鈴木康之、谷内隆衛、馬場正彦、諸江昭雄、川崎大八

第43回武蔵野稲門会ゴルフ部会 平野杯 コンペ

わたなべ よしあき
渡辺 吉章 (1974・理工)

2月3日 埼玉県の「高坂カントリークラブ」にて開催されました。当日は参加者11名にて、好天に恵まれ、其れ程寒くなく、青空の下健康維持と親睦をモットーとする大会にふさわしい絶好のコンディションでした。終始和気あいあい、全員つつがなくラウンドを終了しました。試合後の懇親会では、悲喜こもごもの結果と順位に、そして参加者全員によるユーモアあるスピーチで大変盛り上がりました。新ペリア方式を採用し、優勝はゲストの佐藤淳之氏、準優勝は小野沢純一氏、3位は梅沢正春氏でした。

参加者 11名

井上良一、市川毅、梅沢正春、小野沢純一、小室至、滝本尚男、千葉昌信、袴田卓志、堀裕一、渡辺吉章、佐藤淳之(ゲスト)



食事とお酒

カヤシマ

佐藤 孝一 (1981年商学部卒)

〒180-0004 東京都武蔵野市吉祥寺本町1-10-9
吉祥寺第一ホテル前

Tel 0422-21-6461

http://www.e-kayashima.com

お客様の一生の思い出づくりをサポート!

車東人 **武蔵境** **教習所**

東京都公安委員会指定

運転免許から各種講習、車の購入までお任せください

ケータイ対応 イコー ム サ シ サカイ

0120-15-6343

同好会報告 (2)

テニス部会

さかい みゆき
酒井 幸 (1971・法)

朝日歌壇に、テニスの打球音を「シャンパンを開けるようなる音」と詠んだ短歌があった(春日市 藤井量子)。ストロークでもボレーでも、スイートスポットで捉えた音はまさにそうだ。相手の届かない所に綺麗に決まれば実に心地よい。無心に球を追い、会心のショットが打てた時の爽快感はひとしおである。

硬式テニスボールの色は、今やほとんどが黄色である。カラーテレビ中継で見やすいようにと、ついにウィンブルドンも黄色を採用した1986年以来急速に広まったと聞か、その昔は白だった。我が部会のメンバーには、白球時代からのベテラン・プレイヤーが何人もいることが誇らしい。

毎月ほぼ2回、平日か土日の2時間、武蔵野市役所北側の市営「武蔵野庭球場」で、40代から80代までの部員がガチなダブルス・ゲームを楽しんでいる。参加者は4人から8人程度。平日は参加者が少な目で、ダブルスができない!と危機に瀕することがたまにある。

初心者も歓迎します! 女性は一人しかいないので、大歓迎します!! みなさん、どうぞテニス部会へ!!!



若手の会



現役で仕事をしている若手会員を主体に、偶数月の第3ウィークデイに行っている飲み会兼情報交換会。自称若手も大歓迎です。

2月20日木曜の若手の会は、吉祥寺T-conackにて19時~22時すぎまで開催されました。出席者は、合計12

名でした。

写真は2月20日の若手の会

◆場所は会員のお店である「カヤシマ(吉祥寺)」と「志あわせ(三鷹)」の他、幹事推薦のお店

世話人: 堀 裕一 090-3212-0052

hori@hori-laws.jp

: 根本洋子 080-5004-1600

三水会

◆毎月第三水曜日午後6時過ぎ吉祥寺駅前・戎ビヤホールに集まって食事と料理を格安で楽しむ飲み会です。

多士済々の会員が政治、経済、スポーツ、健康、母校の動静など自由に語り合っています。

やなか たつお
谷中 竜雄 (2002・法)

2月19日の第三水曜日、お馴染みの「戎ビヤホール」にて三水会が開催された。参加者17名。

この日話題となったのは、やはり新型コロナウイルス。皆非常に高い関心を寄せており、互いの持つ情報を披見し合ったり、体調を気遣い合ったり。地元でのアフター5の憩いの場として、正にこの三水会の様なものがあると良い。

ゲストの小林正幸さん(ラグビー蹴球部元監督)からは、今夏コロラド州デンバーで行われるワールドラグビーフェスティバルへの遠征のお知らせ。最後は、諸江座長のリードの下「紺碧の空」、そして集合写真を撮り散会。

二次会は7名。やや閑散とした店内を賑わせるかの様に、活発な議論が交わされた。(写真 鈴木 徹)

座長: 諸江 昭雄 080-1060-7291

a-moroe-s-w226@r2.ucom.ne.jp

世話人: 谷内 隆衛 080-6814-1868

: 片岡 冬里 090-9640-7202

kataoka.tori@estate.ocn.ne.jp

(写真は2月19日)



ご冥福をお祈りいたします

幡鎌 武夫さん(1964・法)2019年12月18日

むさしのFJ司法書士法人

代表 山本 好 (1970年法学部卒)

事務所

〒180-0022 武蔵野市境2-14-1 スイングビル603

電話 0422-60-5600

FAX 0422-60-5610

不動産登記 相続遺言 簡易裁判所代理 家庭裁判所申立て

公園通り法律事務所

弁護士 酒井 幸 (1971年 法学部卒)

弁護士 酒井 圭 (2004年 商学部卒)

〒180-0004

東京都武蔵野市吉祥寺本町2-4-16 吉祥寺石井ビル2階

電話 0422-23-6162 FAX 0422-23-6163

e-mail: info@kouendori.com

HP: http://kouendori.com/ blog: http://kouendori.jugem.jp/

新しい同好会を!

当会は、新しい同好会を作り、会員が相互に一層のコミュニケーションを図れる機会を増やして行きたい、と考えております。スポーツ、文化、社会貢献など同好会のアイデアをお持ちの方は是非事務局まで、ご連絡ください。



俳句「稲穂会」

「交番に猫の貼り紙春隣」 幸子 (中村幸子)

「発声の基本に戻り初稽古」 *迷い猫か? つよし(市川 毅)

「新妻待つ若き耕人二月畝」 *田園の二人 秋雲 (川島隆慶)

「年の豆噛みて一人の夕べかな」 *うまかったなー 宏治 (池田広治)

「白梅や百寿の詩吟朗々と」 *とにかくすごい 麟太 (川崎大八)

「待ち合わせはミモザの下の日曜日」 *そんな日もありました さはる(栗間早春)

「身を焦がす想いは同じ猫の恋」 *初恋の思い出 正風 (星田 正)

川柳「稲穂会」(二〇二〇年三月 テレワーク)

「兼題(和)

「外出を 控えて我が家 平和なり」 諸江昭旦

「ウイルスの培養箱か? 貴婦人船」 片岡冬里

「追い越して振り向き嘩然バックシャン」 森川紀一

「断捨離は コロナのお陰 暇つぶし」 諸江昭旦

「目に見えぬ敵に怯えて引き籠る」 市川 毅

「かの国の警察人事この国も」 田坂忠俊

「陽よりも 陰がいいのだ この頃は」 小坂 強

「後手後手が 急に先手で 大混乱」 太田資暁

「寒鴉独居の軒に宿りおり」 星田正風

会費納入のお願い

令和2年度(2020年度)武蔵野稲門会費2,000円を下記郵便振替口座へお振込みください。加入者名:武蔵野稲門会 口座番号:00150-8-190961

同好会/世話人

○囲碁(イナゴ)会

毎月第2、第4週の火曜日、中央コミセン 平田康啓 0422-54-4432

○ウォーキング会

馬場正彦 080-5937-2767

○温泉と景観を楽しむ会

年2回程度(1泊2日) 中山美代子 0422-22-8862 徳田直子 0422-43-2773

○カラオケ部会

奇数月の第4水曜日 18時~22時 山内 巖 0422-54-1475

○クラシック音楽同好会

年1回コンサートを開催 山本富士雄 090-5194-3086

○ゴルフ(平野杯)部会

年2回(春・秋) 堀 裕一 090-3212-0052 大石 仁 080-5170-4122

○三水会

毎月第3水曜日18時~ 諸江昭雄 080-1060-7291 谷内隆衛 080-6814-1868 片岡冬里 090-9640-7202

○シネマ倶楽部

杉原鉄夫 090-2675-9391 福田晴美

○写真同好会

山下倫一 090-2626-2935 宮崎幸二 090-9005-8203

○俳句・川柳の会

俳句「稲穂会」: 偶数月第3水曜日 13:30-15:00 本町コミセン 星田 正 0422-53-5436

川柳「稲穂会」: 3ヶ月毎

太田資暁 0422-20-1705

○テニス部会

月2~3回 谷岡 聡 080-2081-9702 角田正三 0422-56-3162 谷内隆衛 080-6814-1868

○マーじゃん部会

偶数月の第2土曜日 松本 誠 090-3204-4355 牛込秀三 080-1349-1009

○もっと早稲田を応援する会

箱根駅伝、レガッタ、野球、ラグビー、など 諸江昭雄 080-1060-7291 川崎大八 090-6305-3275

○若手の会

偶数月の第3ウィークデイ 堀 裕一 090-3212-0052 根本洋子 080-5004-1600

同好会入会お問合せは各世話人へ。詳細は、武蔵野稲門会ホームページをご覧ください。 http://musashino-toumon.info/information.html (注) 同好会ページが直接開きます。

家族葬専門葬儀社 のもと祭典

代表 野本 好朗 (2011年文学部卒業) 三鷹本社 〒181-0013 東京都三鷹市下連雀7-6-29-103 武蔵野支店 〒180-0006 東京都武蔵野市中町1-25-7-104 TEL 0422-57-7876 (24時間365日受付) FAX 0422-57-6078

のもと祭典

編集後記

新年会の頃には対岸の火事のようにであった「新型コロナウイルス」が世界を揺るがす前代未聞の大事件となり先の見えな不安な毎日です。今号は時節柄手配りを止め、郵送いたしました。経費節減のため紙が薄くなっておりますが、ご了承ください。コロナの終息を祈るばかりです。(徳田)